

## 外科的がん切除後のせん妄の発症及び続発的認知機能低下を 予測するバイオマーカーの開発

### 1. 研究の対象

・2011年5月以降に当院でがんの外科的切除（6時間以上を予定されるような、体への負担が大きい手術）を受け、かつ包括的同意をされている20歳以上の方

### 2. 研究目的・方法

研究実施期間：研究許可日～令和8年3月末

後方視的研究（お知らせの対象となる方の、過去の試料と情報を用いた研究）と前方視的研究（これから同意を得て試料と情報を得る研究）を行い、それぞれ異なった集団で、炎症性サイトカインと末梢血ドパミンの術後せん妄（手術後の強い寝ぼけの症状）と関わりを検討し、結果が一致するか確認します。

後方視的研究の詳細：国立がん研究センターのバイオバンクに200名程度の対象となる術後せん妄患者さんの血液が保存されていると見込まれており、これらを用いて、外科的がん切除術後のせん妄を発症した方の炎症性サイトカインとドパミン濃度を調べ、せん妄を発症しなかった方と比較します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

国立がん研究センター バイオバンク試料（診療で余った血液）から2mlを使用します。

本研究では、全て包括的同意が得られている試料を用います。年齢・性別・術式・炎症反応・使用薬剤・バイタルサインなど、術後せん妄発症と関連し得る臨床情報を電子カルテから参照し、データとして管理します。また精神腫瘍科が2015年4月～11月に実施した「がん患者における術後せん妄の罹患率と予後因子に関する研究」で得られた情報（せん妄発症の有無、持続期間、せん妄の種類など）を用います。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者/研究責任者：貞廣 良一

国立がん研究センター中央病院

精神腫瘍科 医員

〒104-0045 中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511